⑩日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出願公開

@ 公開実用新案公報(U)

平1-176721

Sint. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

每公開 平成 1年(1989)12月18日

F 02 B 63/04 F 16 M 3/00 H 02 K 5/04

B-6673-3G K-7312-3G 6340-5H審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

❷考案の名称

1)

エンジン発電機のフレーム構造

②夹 颐 昭63-72335

後出 頤 昭63(1988)5月31日

個考案 者 野 沢 興 司

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日座自動車株式会社

勿出 願 人

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

日産自動車株式会社 個代 理 弁理士 森 哲也

外3名

**JEST AVAILABLE COPY** 

#### 明細書

- 1. 考案の名称
  - エンジン発電機のフレーム構造
- 2. 実用新案登録請求の範囲
- (I) エンジン発電機を囲み且つ該エンジン発電機を 支持するフレームを有し、このフレームは該フレ ームの前面側に横架させたサイドフレームを備え、 このサイドフレームに、前記エンジン発電機の制 御等を行うための各種機器を収納するコントロー ルボックスを固着する構成のエンジン発電機のフ レーム構造において、

前記サイドフレームと前記コントロールボックスの少なくとも上面、背面及び底面を覆うボックスカバーとを一体成形し、当該コントロールボックスの前面位置には着脱自在に装着可能なパネルプレートを具えたことを特徴とするエンジン発電機のフレーム構造。

- 3. 考案の詳細な説明
- 〔産業上の利用分野〕

この考案は、エンジン発電機のフレーム構造に

係り、とくに、搬送が容易な小形エンジン発電機 のフレーム構造に関する。

#### 〔従来の技術〕

( )

この種のエンジン発電機のフレーム構造としては、例えば第5図に示すものが一般に知られている(例えば、実開昭61-98357号公報参照)。

この構造を説明すると、同図において、1はエンジン1Aに発電機1Bが連結されたエンジ 持って、2はこのエンジン発電機1を支持パイプレームを示す。この内、フレーム2はパイプレーム3と、このパイプフレーム3の前面及びすると、なっている。また、ベースフレーム3の前面及び背面側に横架されたエンウントのでは、ベースフレーム4、4とにマウントのではは、ベースフレーム4、4上にマウントのでは、ベースで設置され、所定の発電を行うことができるようになっている。

さらに、前面側のサイドフレーム 5 の下端部には、コントロールボックス 7 がアーム等で支持さ

れ、このボックス7には、エンジン1Aの回転数 制御回路等を初めとして、ヒューズ、コンセント 等の機器が収納されている。ここで、8はパネル プレート、9は燃料タンクである。

#### [考案が解決しようとする課題]

しかしながら、このような従来のフレーム構造にあっては、サイドアとして形成し、ココントトロロス 7 とを別部材として形成しない。 カーム 5 に対けない。 大阪 1 で支持させる 5 に対けない。 大阪 1 で支持させる 5 に対けない。 大阪 1 で支援 1 でする 1 でする 2 でする 2 でする 3 でする 3 でする 3 でする 5 でする 5

の製造コストの上昇をもたらすという問題もあった。

そこで、本考案は、このような種々の問題に鑑み、簡単な構造で、大形化、重量増を排除しながら、サイドフレーム及びコントロールボックスの強度を格段に増大させ、振動を防止し、且つ、製造コスト低減を図ることができるようにすることを、その解決しようとする課題とする。

#### 〔課題を解決するための手段〕

()

可能なパネルプレートを具えている。

#### 〔作用〕

この考案においては、サイドフレームとコントロールボックスの少なくとも上面, 背面及びに高を覆うボックスカバーとが一体成形されている。このため、両者を別部品として製造する場合に上がである。また知立て、部品点数が少なくなり、また知道コストが低減する。またといって、なり、製造コストが低減する。まため、別部品を連結する場合に上べて、より高い剛性が別部品を連結する場合に上べて、より高い剛性があれ、これにより、フレーム及びコントロールボックスの強度増及び振動低減で有利となる。

#### 〔実施例〕

以下、この考案の第1実施例を第1図,第2図に基づいて説明する。

第1図において、10はエンジン発電機を示し、 11はエンジン発電機10を支持するフレームを 示す。エンジン発電機10は、エンジン10a及 び該エンジン10aに軸連結された発電機10b を有する。

# 公開実用平成 1─176721

フレーム11は、パイプ状部材から成りエンジン発電機10を前後左右で囲むパイプフレーム13の底面側に横架された板状のベースフレーム14,14(第2図参照)と、パイプフレーム3の前面及び背面側に各々様架されたサイドフレーム15,…,15は、コントロールボックス17の上面.背面及び底面を形成するボックスカバー17aが最上下方向に延びて横方向断面がコ字状及び鍵形に形成されている。

()

i )

このようにして形成されたサイドフレーム15, 15 (即ち、コントロールボックス17の一部を 成すボックスカバー17a)は、第1図に示すよ うに、前面側のパイプフレーム13に固着された フランジ13a,…,13aに四隅で固設されて いる。さらに、ボックスカバー17aから上下の サイドフレーム15,15に至る途中の端部17 し、17tには、コントロールボックス17のサ イドカバー17s, 17sが一体に形成されたパネルプレート17fが、前面側からネジI8, …, 18により着脱自在に当接される。

つまり、ボックスカバー17aと、パネルプレート17「(サイドカバー17s.17s)とによりコントロールボックス17が構成される。このボックス17には、前述した従来例と同様の制御用の回路ユニット、機器が収納される。このため、前面側のパネルプレート17fには、それらの収納機器を臨む窓が必要に応じて設けられている。

また、前面側及び背面側のサイドフレーム 15には、第2回に示す如く、フランジ 19. …, 19が固設され、このフランジ 19. …, 19間に燃料タンク 20が配設されている。

一方、エンジン発電機10は、ベースフレーム 14,14上に防振用のマウント22,…,22 を介して設置され、所定の発電を行うようになっ ている。

次に、第1実施例の作用効果を説明する。

エンジン10aを運転することにより、発電機10bでは所定の発電が行われ、その発電出力がコントロールボックス17の所定端子から得られる。

**(**)

( )

このエンジン発電機10では、サイドフレーム 15, 15とコントロールボックス17のボック スカパー17aとを一休成形したので、簡単な構 造ながら、大形化せずとも、サイドフレーム15。 15及びコントロールボックス17の機械的強度 が従来例に比べて著しく増大し、その両者間の剛 性が高められる。このため、エンジン発電機10 の耐久性向上に寄与でき、一方、サイドフレーム 15及びボックス17間の緩みに起因した従来の ような振動の発生を防止できる。また、一体形成 により部品点数及び組立て工数が少なくなること、 及び、コントロールボックス17の製造時にしぼ りプレス工程が不要になるので、製造コストが低 波される。さらに、コントロールボックス17, 即ちパネルプレート171の仕様が変更になって も、パネルプレート171のみを取り替え、ボッ

クス17の他の部分はそのまま使用できるから、 汎用性が格段に向上し、この面からも製造コスト 低減が可能になる一方、整備、管理も容易になる。 さらに、エンジン発電機10の前面側がコントロ ールボックス17により覆われ、体裁もよくなる。

なお、上記第1実施例においては、コントロールボックス17の側面カバー17s, 17sを含めてサイドプレート15, 15と一体成形する構成をとることもできる。

#### (第2実施例)

次に、この考案の第2実施例を第3図,第4図を参照しながら説明する。ここで、第1実施例と同等の機能を果たす構成要素には同一符号を用い、その説明を省略又は簡略化する。

この第2実施例は、第1実施例の構成に、さら に発電機を、燃料注入時に溢れた燃料及び雨水等 から保護する構成を付加したものである。

つまり、エンジン発電機10におけるコントロールボックス17は、第3図に示すように、前面 左半分(エンジン10a側)に収められている。

そして、発電機10bの上方に配設されている燃料タンク20には、発電機10bのほぼ上半分を型うカバー2lが燃料クンク20の鍔部分からスカート状に一体に延設されている。このカバー21のエンジン10a側の緑は、発電機10bの単行になっている。20aは燃料タンク20の注入口のキャンプ、22はタンクロックボルト、a, …, aは発電機10bの空気穴である。

()

( )

その他の構成は、第1実施例と同様である。

このため、本第2実施例の作用効果も第1実施例と同等のものが得られる。このほか、カバー21の遮断機能により、燃料注入時に溢れた燃料や雨水等が発電機10bの冷却穴a,…,aから内部に侵入するということが殆ど無くなり、これによって、発電機10bの錆の発生及び短絡,漏電等の故障を防止でき、安定した運転及び耐久性向

.:

上が可能になる。さらに、溢れた燃料や雨水等はカバー21下端の−21 aによって集められ、特定の排出穴21 bにより排出されるから、それらの燃料や雨水等が周囲に飛散し、汚すということも無くなる。さらに、カバー21 の遮音機能によって、エンジン発電機10 bからの騒音を低減できる。

#### 〔考案の効果〕

# 公開実用平成 1─176721

なくなるから、製造コストが格段に下がり、安価 な装置を提供できるとともに、コントロールボッ クスの仕様が変更になっても前面のパネルプレー トを交換するのみで対応可能になるから、フレー ム構造の汎用性が高くなるという実用性豊かな効 果が得られる。

#### 4. 図面の簡単な説明

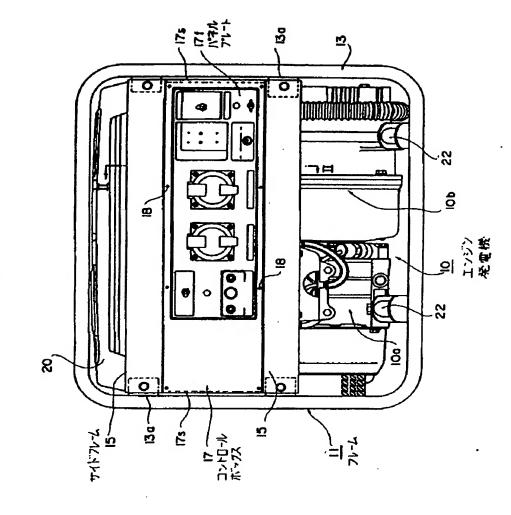
()

()

第1図は本考案の第1実施例を示す概略正面図、第2図は第1図中のⅡーⅡ線部分で破断したときの第1図の概略有側面図、第3図は本考案の第2 実施例を示す概略正面図、第4図は第3図の概略 平面図、第5図は従来例を示す概略斜視図である。

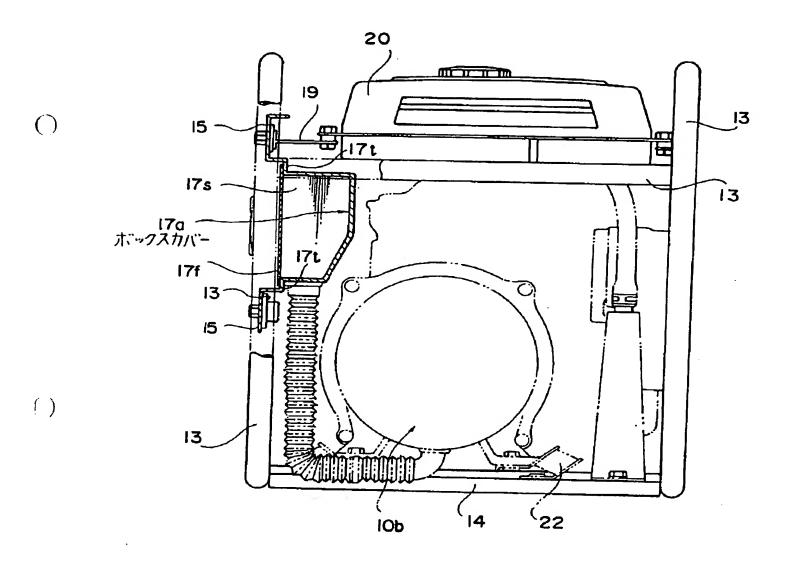
図中、10はエンジン発電機、11はフレーム、 15はサイドフレーム、17はコントロールボッ クス、17aはボックスカバー、17 Cはパネル プレートである。

298



第一路

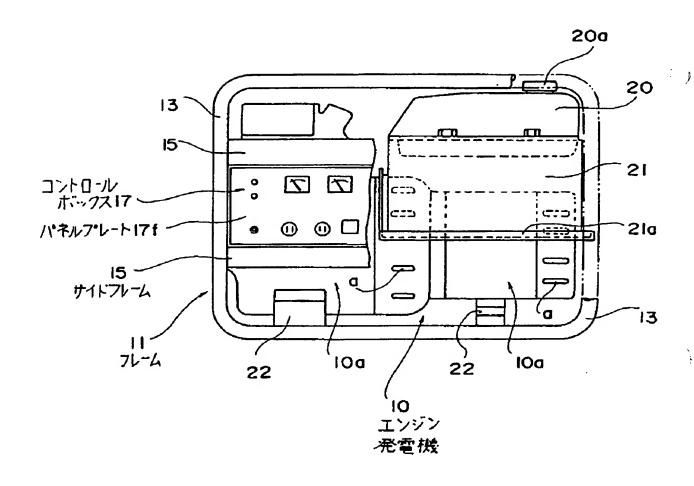
# 第 2 函



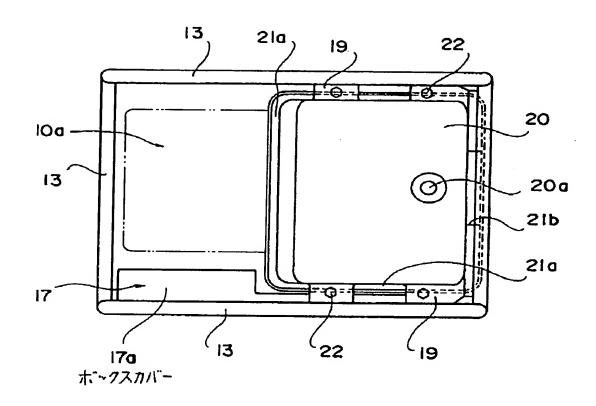
299

**中間1-176** 

# 第 3 図



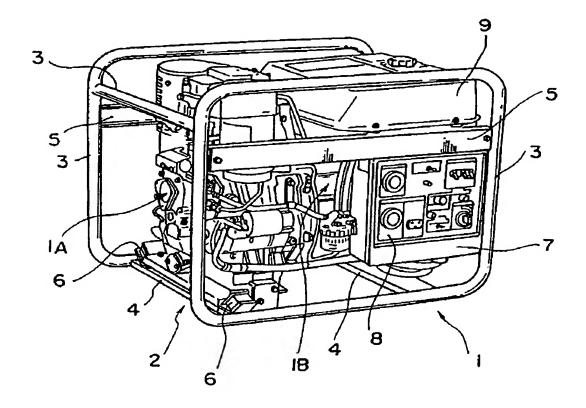
# 第 4 図



()

()

# 第 5 図



# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:	
	□ BLACK BORDERS
	☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
	☐ FADED TEXT OR DRAWING
	BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
	☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
	☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
	☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
	☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
	REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
	<u> </u>

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)